

『肢体不自由教育の理念と実践』(ジアース教育新社)

2011 年度～

科目概要

肢体不自由者の心理・生理・病理・指導について、対象児の理解、指導の実際、保護者への支援などを総合的に学び、肢体不自由者の教育における基礎的、実践的な力を養う。

学習上の目標

■ 科目の到達目標

肢体不自由児者の心理・生理・病理・指導について、理解を深め、その障害特性の理解と指導法について学ぶ。

■ 科目の学習要点事項

1. 肢体不自由児者の代表的な障害特性と発達理解
2. 教育課程、個別の指導計画、個別の教育支援計画の作成
3. 保護者や地域との連携

参考文献

『障害特性の理解と発達援助』昇地勝人(ナカニシヤ出版)

『あなたへのおくりもの』星山麻木(河出書房新社)

『肢体不自由教育の基本とその展開』日本肢体不自由教育研究会(慶応義塾大学出版会)

評価基準

■ レポート評価

指導方法や指導案に個別の教育支援計画、個別の指導計画や目標が生かされていること。チームサポートの重要性、連携の在り方、などが、理解されているとなお良い。

■ 科目終了試験評価

総合的に、肢体不自由者の理解と実際の支援の方法について理解していること。